

# 地域学習における情報機器の活用

幡羅小学校

## 1 単元名 「見つけよう探そう私たちのはたら」5年総合的な学習の時間

## 2 単元の目標

調べ学習を通して、地域に親しみ、良さを発見することができる。  
地域について知っていることを話しあったり、実地調査をしながら  
課題解決を図っていくことができる。  
調べたことをホームページ上で発表し、情報を発信していく。  
情報手段を主体的に活用し、課題解決を図っていくことができる。

## 3 指導計画の概要

### 学習の計画を立てよう

はたら地区出身 江森天寿の日本画を提示する。  
今と昔の幡羅地区のことを調べよう。

幡羅の地域について、  
特徴の一例を紹介して、  
地域学習の意欲を高め  
る

### 調べよう

#### 現在の幡羅を 知る

公園を探検し地図を  
つくってみたい

幡羅の工場はどんな  
ところかなあ

### まとめよう

たくさんの資料をまとめるには、どんな方法があるだろう。

紙芝居にしてみよう。 地図を作ろう。 公民館の方に聞いたことを  
コンピュータで紹介しよう。

### アピールしよう

何の発表か下級生にわかるように、写真を大きくしよう。

話し方を練習して、下級生にはたらのよさを伝えよう。

テレビ会議で幡羅を紹介しよう。

#### 幡羅地区の今と昔を比べよう。

農業で比べよう。

今の品と昔の品では！！

#### 自然からも知る

地区を流れている川を探ろう  
どんな川があるの

衣・食・住、お店では  
どんな違いがあるの？

#### 歴史で知る

幡羅地区の名前の  
由来は？

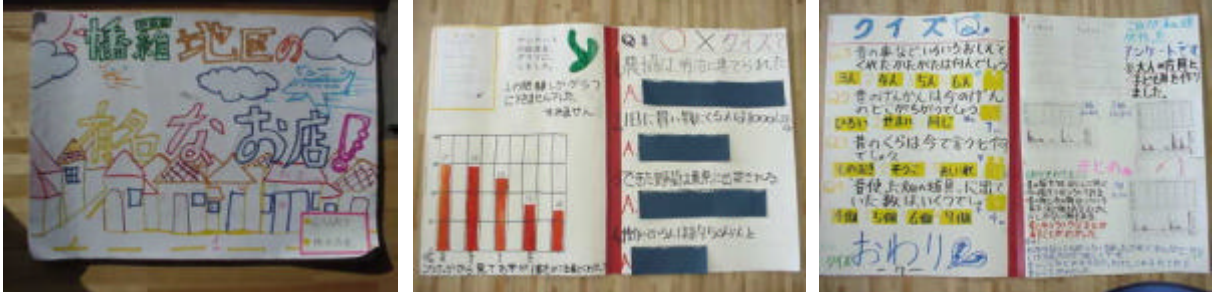
## 4 情報機器活用の意図

5年生の児童は、インターネットを利用し、自分に必要なさまざまな情報を  
呼びだし、他のグループと異なる方法で共通の課題を解決する事を学習してきた。ま  
た、その結果をお互いに比較し、方法や考え方が正しかったかを検討してきた。

さらに、テレビ会議を使い他の学校や地域の人々との交流を通し、お互いのもの  
の見方や考え方を見つめ直したり、確認したりしてきた。


このような活動を通して、課題や目的に応じて情報手段を適切に活用するとともに必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などをふまえて発信・伝達できる能力を育てたいと考えた。

## 5 児童の作品



## 6 授業実践概要

目標 聞いている人にわかるように調べたことを発表することができる。

学 習 活 動	予想される児童の反応と支援・留意点
<p>1 調べたことを発表する練習をする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>内容をわかりやすく伝えるように、発表方法を工夫しよう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各班で発表していく中で、自分たちがアピールしたい所を聞いている人にわかるように伝えることができるか検討する</li> <li>・内容で注意することや、よく知らなかった情報をメモし、後の発表に生かせる情報を得られるようにする。</li> </ul>
<p>2 実際に発表する。</p>	<div style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビで幡羅地区の様子がよくわかる</li> <li>・テープの声でお店の人の工夫がわかるのがいいと思う。</li> </ul>
<p>3 発表の内容で工夫した所や良かった所を話し合う。</p> <p>4 内容をアピールする方法を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙に書いたものは、文字の大きさや、言葉遣いに注意しないと、よくわからない。</li> <li>・グラフや表があると、文字よりもわかりやすく、まとめやすい。</li> <li>・実物があると、当時のことが想像ではなくて、実際にわかる。</li> <li>・テレビ会議で、他の学校に幡羅のいいところをアピールする方法を話し合い、計画する。</li> </ul>